

ホー

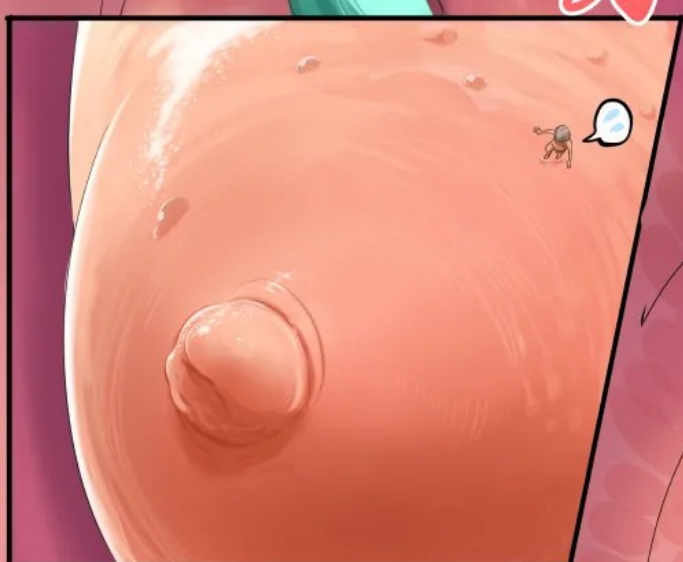
ホー

不用心ね
こんな物騒な森に
一人で入ってくるなんて

久しぶりの
エモノ♡

体を小さくして
おっぱいの上で
可愛がってあげる♡

ぷる♡



あはあ♡
よちよち
動いてる♡

可愛いから
おっぱいのてっぺんまで
登ってこれたら
見逃してあげようかな？

ほら
そんなモタモタ
していいの？
こうしてる間にも…

君の体
どんどん小さく
していくからね
あはは！

…
あーあ
小さくなりすぎて
もう見えなくなりそう

思ったより
全然登れて
ないじゃない

それ以上小さくなると
そのちっちゃな凹凸でさえ
さっきのおっぱいみたいに
大きくなるわよ？
そうなのちゃうと
登りきるなんてもう無理ね

ドクン…

ドクン…

Q + 10,000



あら？
あなた？
自分から
おっぱいの中に
入っていくなんて



正気を失っちゃったのね
あなたには魔力が
強すぎたみたい

ドクン...
ドクン...
もっ...
もっ...
はっ...



つまんない
じゃあもう
終わりにするわ

手加減もしてあげないから...

縮め

ギュン!!



小さくなるのが早すぎて
まばたきをするたび
見えてる景色が別世界のように
変わっていくでしょう？

そのまま
おっぱいの中で永遠に
縮めてあげる
君の命が続くまで
一生ね

ドクン...

ゴボッ

さようなら
哀れな
微生物さん

しゅわん...
しゅわん...
しゅわん...